

ネームカラーとフラグ

ゲーム内で、PC や NPC の名前の色はきちんと意味があります。感覚的に大体分かると思いますが、確認しておきましょう。会話の中で「青ネーム」とか「赤ネーム」とかいう表現が出ることもあります。それは、このネームカラーを表しています。例えば "赤ネーム PC" なら PK ということになりますね。

ネームカラー

犯罪を犯していない PC と、善属性の NPC です。フェルツカで攻撃すると犯罪行為となります。ki-rin や unicorn など、善属性なので青ネームです。NPC の場合は、必ず「人名 the 職業」というフォーマットなので見間違えることは無いはず。

殺人(青ネームに限る)を犯した PC と、悪属性の NPC です。攻撃しても犯罪行為にはなりません。赤ネーム = PK とは限らないことに御注意を。priest of Mondain は普通に野良ヒーラーとして蘇生もしてくれますから、殺すメリットはほとんど無い NPC です。

システムの保護された NPC です。無敵なのでどんな武器も魔法も彼らを傷つけることは出来ません。やはり「人名 the 職業」というフォーマットになります。

犯罪者や攻撃者となった PC のほか、モンスターと動物もこれです。攻撃しても犯罪行為にはなりません。つまり、PC が灰色ネームになった場合、殺されてもその相手は赤ネームにならないということです。犯罪を犯してこの状態になった場合、時間が経過すれば灰色ネームから青ネームに戻ります。

味方ギルドメンバーの PC です。ギルドタグ (ギルド名の略称) が付いていれば、より分かり易くなります。

敵対ギルドメンバーの PC です。また、騎士道アビリティの「Enemy of One」の効果対象となっているものもオレンジになります。

カウンセラーなどのボランティアスタッフ、GM が操作している NPC やモンスターをも表しています。これを見かけたときは、その言葉に耳を傾けてみましょう。どこかで起きる、いつものとは違った日常への扉になるかもしれません。

ネガティブ行為とフラグ

上記ので書いた通り、プレイヤーが殺人などのネガティブ行為を犯した場合、フラグが設定されてネームカラーが「灰色」や「赤」に変わります。これを「フラグが立つ」と表現することがあります。どのような行為がネガティブ行為で「犯罪者」「攻撃者」のフラグが立つのかを以下にまとめてみます。なお、フェルツカ以外ではネガティブ行為は出来ません。

青ネーム NPC や 青ネーム PC への攻撃

フェルツカでは他 PC への攻撃が可能です。これが最も典型的なネガティブ行為です。～ 攻撃をした時点で「犯罪者」のフラグが立ちます。この攻撃とは、武器による通常攻撃や魔法攻撃、ペットや召喚生物による攻撃のいずれもが含まれます。相手のペットなどへの攻撃も同様の扱いです。なお、PC への攻撃行為はフェルツカでしか出来ません。～ 青ネーム PC に攻撃した場合「攻撃者」のフラグが立ちます。この場合、攻撃を受けた方にだけ自分は灰色ネームになります（つまりその他の人には灰色ネームにならない）。さらに PC を殺害して殺人カウントが上がると 赤ネームになります。～ 「攻撃者」は、Recall・Sacred Journey・常設ムーングートが使用できなくなり、PC の家に入れなくなります。

盗みが相手に気づかれた時

フェルツカでは「窃盗」のスキルがあれば、他 PC のアイテムを盗み出せます（このスキルだけでは、なかなかいい仕事は出来ませんが）。これもネガティブ行為です。～ うまく盗めなくても、ばれたら「犯罪者」のフラグが立ちます。逆に言えば、ばれないなら犯罪者にはなりません。つまり、盗みの成否自体は「犯罪者」となるのには関係ないようです。

青ネームの死体からのルート

フェルツカでは他 PC の死体からルート出来ます。これもネガティブ行為になります。～ 犯罪者・殺人者・敵対ギルドメンバー以外の PC の死体からのルートすると「犯罪者」のフラグが立ちます。フェルツカ以外では出来ません。NPC シーフギルドに入っている場合、その PC の死体は灰色ネームになります（つまりルートしても犯罪にならない）。

灰色ネーム PC ・ 赤ネーム PC への有益な行為

これもネガティブ行為です。つまり「犯罪者」や「殺人者」を回復させたり、ペットを譲渡したりすると「犯罪者」のフラグが立ちます。

「犯罪者」のフラグが立つと、その PC の名前は灰色になります。この状態は2分間続きます（その後 青ネームに戻ります）。ガード圏内では、灰色ネームになってから15秒以内だとガードを呼ばれると処刑されます。この状態を「犯罪者フラグが立っている」と称されることがあります。

他の PC に殺された場合、大抵の場合は「殺人報告」が可能です。これを受けると、殺した側には「殺人カウント」が入ります。これが5になると赤ネームとなり「殺人者」として分かるようになります。公式ページのキャラクター検索でも赤ネームであることが分かるようになっていきます。殺人カウントは40時間で-1されます。

「大抵の場合」というのは、自分が「攻撃者」だった場合 = 自分から攻撃した場合、それで相手に殺されたら「殺人報告」は出来ないからです。これを見越して、相手から攻撃をさせて返り討ちにする「CPK(カウンターPK)」というのがあります。

赤ネームになると、フェルツカ以外のファセットには移動できなくなります。ガード圏に入れますが、攻撃を受けても相手は「犯罪者」や「攻撃者」にはなりません。

また神殿（アंक）やNPCヒーラーの蘇生を受けられません。ただしWind付近にあるカオス神殿では蘇生を受けられます。

それから"徳"の入手や使用が出来なくなります。既に"徳"を積んでいた場合は、腐るがままとすることになります。
